

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

学校法人 岩手医科  
理事長 大 堀

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	62人
--------	-----

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	321人	67人	345.2人	看護業務補助	42人	診療エックス線技師	
歯科医師	116人		116人	理学療法士	6人	臨床検査技師	75人
薬 剤 師	51人		51人	作業療法士	4人	衛生検査技師	1人
保 健 師				視能訓練士	6人	その他	
助 産 師	36人		36人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	4人
看 護 師	903人		903人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	7人		7人	栄 養 士	8人	その他の技術員	59人
歯科衛生士	37人		37人	歯 科 技 工 士	10人	事 務 職 員	114人
管理栄養士	12人		12人	診療放射線技	49人	その他の職員	

- (注)1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	783.6人	27.0人	810.6人
1日当たり平均外来患者数	1,592.9人	389.4人	1,982.3人
1日当たり平均調剤件数	1,274.3 剤		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤件数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/>	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/>	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/>	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/>	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/>	人
顎顔面補綴	<input checked="" type="radio"/> ・無	1人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/>	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/>	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/>	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/>	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/>	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/>	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/>	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/>	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/>	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	<input checked="" type="radio"/> ・無	6人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/>	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	<input checked="" type="radio"/> ・無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下肝部分切除術	<input checked="" type="radio"/> ・無	8人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/>	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/>	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/>	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/>	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/>	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/>	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/>	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/>	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/>	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/>	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/>	人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/>	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/>	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/>	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/>	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/>	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/>	人
痔腫瘍に対する腹腔鏡補助下痔切除術	有・ <input type="radio"/>	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	9人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

腹腔鏡補助下肝切除術

有

3人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	56人	・モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症）	27人
・多発性硬化症	105人	・ウェゲナー肉芽腫症	119人
・重症筋無力症	84人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	1人
・全身性エリテマトーデス	1130人	・多系統委縮症	12人
・スモン	0人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	1人
・再生不良性貧血	107人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	218人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	23人	・原発性胆汁性肝硬変	446人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	426人	・重症急性膵炎	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	36人	・特発性大腿骨頭壊死症	1人
・結節性動脈周囲炎	7人	・混合性結合組織病	90人
・潰瘍性大腸炎	82人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	9人	・特発性間質性肺炎	8人
・ピュルガー病	0人	・網膜色素変性症	22人
・天疱瘡	44人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	31人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	71人	・神経線維腫症	25人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	23人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	9人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	170人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	1人
・アミロイドーシス	56人	・ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病）含む	6人
・後縦靭帯骨化症	45人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に2回		
剖検の状況	剖検症例数	33 例	剖検率 8.1 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	1,700	補 厚生労働省難治性疾患克服 研究事業(三森班) 委
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	1,800	補 厚生労働省がん臨床研究事業 (松野班) 委
間接リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究	宇月 美和	病理学講座 先進機能病理学分野	2,000	補 厚生労働省免疫アレルギー疾患 等予防・治療研究事業(越智班) 委
・ヒト血管炎におけるEBウイルスの関与 ・膠原病に合併する肺高血圧症における肺血管 内皮細胞傷害に関連する自己抗体の解析	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	3,870	補 先端医療センター
EBウイルス小RNAによるサイトカイン発現誘導	菅野 祐幸 黒瀬 顕 鎌滝 章央	病理学講座 先進機能病理学分野	3,590	委 補 私学振興事業団
γH2AXを用いたgliomaの抗癌剤感受性の評価 並びに作用機序の解明	佐藤 雄一 黒瀬 顕	病理学講座 先進機能病理学分野	300	委 補 私学振興事業団
がんの病理組織診断均てん化のための バーチャルスライドなどIT機器の活用 (専門分野研究者研修会)	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	994	委 補 日本対がん協会
肝不全患者の分子標的治療法の開発研究	増田 友之	病理学講座 病理病態学分野	10,955	委 補 日本私立学校振興共済事業団
肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究	阿部 弘一	内科学講座 消化器・肝臓内科	2,000	委 補 厚生労働省 肝炎等克服緊急 対策研究事業(田中班) 委
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科	400	補 厚生労働省 科学研究費補助金 (坪内班) 委
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法 のガイドライン作成を目指した総合的研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科	14,700	補 厚生労働省 科学研究費補助金 (鈴木班) 委
岩手県内の1型糖尿病患者の実態調査と療養 支援体制の構築	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	1,000	委 補 岩手県地域医療研究事業
糖尿病予防のための戦略研究課題3	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	3,000	委 補 国際協力医学研究振興財団
糖尿病多発神経障害の臨床病期分類の確立と 病期に基いた治療ガイドラインの作成	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	800	委 補 厚生労働省 科学研究費補助金
心臓・血管検診クリニックによる一般住民を 対象とした循環器疾患コホート研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科	2,000	補 公益信託日本動脈硬化予防 研究基金 委
プロテインアレイを用いた蛋白定量解析の癌治療 への応用	西塚 哲	外科学講座	1,584	委 補 科学技術振興機構委託研究金 外科JST発掘口 委
悪性腫瘍科学療法における分子反応の多様性 解明のための理論生物学的アプローチ	西塚 哲	外科学講座	1,000	補 圭稜会学術振興会 共同研究助成金 委
介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が 運動機能障害予防に及ぼす影響に関する 大規模研究	小川 彰	脳神経外科学講座	17,430	補 厚生労働省 科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 (H19-長寿-一般-030) 委
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法 確立に関する研究	小川 彰	脳神経外科学講座	500	補 厚生労働省 科学研究費補助金 がん臨床研究事業 (H18-がん臨床-009)山形嘉山 委
SPECTを用いた脳血管病変診断法の標準化 と臨床的評価	小川 彰	脳神経外科学講座	800	補 厚生労働省 循環器病研究委託費 19公-3 第Ⅱ課区分担代表者 委 宮本班
無症候性頸動脈狭窄症に対する治療方針の 確立に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,500	補 厚生労働省 循環器病研究委託費 20公-1 委
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療 効果を増強した標準治療確立に関する研究	別府 高明	脳神経外科学講座	600	補 厚生労働省 がん臨床研究事業 厚生労働科学研究費補助金 (H20-がん臨床-一般019) 渋井班 委
非侵襲的脳活動計測技術の臨床応用	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	10,400	補 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 委
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	1,000	補 厚生科学労働研究費補助金 委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

遠隔画像診断システムを用いた放射線科 女性医師の地域医療参加とスキルアップ支援	江原 茂	放射線学講座	100	補 委 補 委	岩手県地域医療研究事業 厚生労働省がん研究助成金 21分指-8-⑦(荒井班)
局所療法適応外の肝細胞がんに対する経動脈 的治療法標準化	曾根 美雪	放射線学講座	100	補 委	厚生労働省がん研究助成金 21分指-8-⑦(荒井班)
類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に 関する研究	曾根 美雪	放射線学講座	80	補 委	厚生労働科学研究費補助金・ 医療技術実用化総合研究事業 (遠藤班)
緩和ケアにおけるIVRの確立についての研究	曾根 美雪	放射線学講座	100	補 委	厚生労働科学研究費補助金・ がん臨床研究事業20-21 (荒井班)
画像によるがんの診断、治療法選択、 治療効果判定に関する研究	曾根 美雪	放射線学講座	10	補 委	厚生労働省がん研究助成金 (渡辺班)
マイクロカプセルを用いた、放射線による薬剤 標的療法の開発	原田 聡	放射線学講座	350 (H20～H24 年度)	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤(C)
微量元素動態による放射線照射後のアポトーシス 検出と、癌 治療、放射線被曝評価の開発	原田 聡	放射線学講座	240	補 委	東京大学原子力研究重点 連携研究補助金 NO. H21-23-3
CTIによる閉塞性血管病変の診断法の開発: 非侵襲的診断法の確立を目指して	田中 良一	放射線学講座	325	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤(C)
心臓弁膜症に対する新しい非侵襲的画像 診断法の開発	吉岡 邦浩	放射線学講座	91	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤(C)

計 61件  
85,319千円

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Chim Acta. 2008 Jan;387(1-2):55-8	Characterization of circulating DNA in healthy human plasma.	Suzuki N Kamataki A Yamaki J Homma Y	病理学講座 先進機能病理学分野
Clin Exp Immunol 151:519-27(2008)	Adhesion of Epstein-Barrvirus-positive natural killer cell lines to cultured endothelial cells stimulated with inflammatory cytokines.	Kanno H Watabe D Shimizu N Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Arch. Dermatol. Res. 300(1):37-45(2008)	Role of heparin-binding EGF like growth factor and amphiregulin in the epidermal proliferation of psoriasis in cooperation with TNF $\alpha$ .	Yoshida A Kanno H Watabe D Akasaka T Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Pharmacol Rep 60(1):93-100(2008)	Biscoclaurine alkaloid cepharanthine protects DNA in TK6 lymphoblastoid cells from constitutive oxidative damage.	Halicka D Ita M Tanaka T Kurose A Darzynkiewicz Z	病理学講座 先進機能病理学分野
Digestive Endoscopy 20:73-8(2008)	Intraductal ultrasonography before biliary drainage and transpapillary biopsy in assessment of the longitudinal extent of bile duct cancer.	Noda Y Fujita N Kobayashi G Ito K Horaguchi J Takazawa O Obana T Nakahara K Ishida K Suzuki T Hirasawa D Sugawara T Ohira T Onochi K Harada Y Tsuchiya T Sawai T Uzuki M Kariya Y	病理学講座 先進機能病理学分野
Am J Physiol Cell Physiol 294(1):C189-96(2008,Jan)	Enhancement of lymphocyte migration and cytokine production by ehprinB1 system in rheumatoid arthritis.	Kitamura T Kabuyama Y Kamataki A Homma MK Kobayashi H Aota S Kikuchi SI Homma Y	病理学講座 先進機能病理学分野
Osteoarthritis and Cartilage 16(Supple 4):S107(2008)	Up-regulated expression of ANK in joint tissue from patients with calcium pyrophosphate dehydrate crystal deposition disease(CPPD).	Uzuki M Ryan LM Sawaki T Masuda I	病理学講座 先進機能病理学分野
Osteoarthritis and Cartilage 16(Supple 4):S192(2008)	Activity and expression of hyaluronidases associated with hyaluronan sythases expression and change of molecular weight of hyaluronan in the joint fluid.	Uzuki M Sasaki Y Tokunaga S	病理学講座 先進機能病理学分野



## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Kamataki A Nomi K Kitagawa H Kaiyama J Sawai T	
Int J Rheumatic Diseases A235(2008)	Determination of serum hyaluronic acid molecular weight in patients with rheumatoid arthritis.	Sasaki Y Uzuki M Noumi K Kitagawa H Ikemi M Komagamine M Shimamura T Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Int J Rheumatic Diseases A290(2008)	Chondrogenic differentiation of synovial fluid mesenchymal progenitor cells in osteoarthritis size control of hyaluronan by chondrocyte	Kurose R Ichinohe S Shimamura T Horiuchi S Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Int J Rheumatic Diseases A381(2008)	Association of cytokines with the size control of hyaluronan by chondrocyte.	Kamataki A Oikawa S Mimata Y Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Int J Rheumatic Diseases A389(2008)	Connective tissue growth factor(CTGF), a key cytokine that induces synovial cell growth, especially in early stage of RA.	Itoh T Uzuki M Sawai T Kamataki A	病理学講座 先進機能病理学分野
Int J Rheumatic Diseases A458(2008)	Adhesion of Epstein-Barr virus-positive natural killer-cell lines to cultured endothelial cells stimulated with inflammatory cytokines.	Kanno H Shimizu N Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
J Pharmacol Sci 106(3):354-60(2008.5)	Progress in allergy signal research on mast cells: the role of histamine in goblet cell hyperplasia in allergic airway inflammation—a study using the Hdc knockout mouse.	Yamauchi K Piao HM Nakadate T Shikanai T Nakamura Y Niisato M Ito H Mouri T Kobayashi H Maesawa C Sawai T Ohtsu H Inoue H	病理学講座 先進機能病理学分野
J Gastroenterol 43(2):171-8(2008.2)	Endoscopic biliary imaging and clinicopathological features of cystic duct cancer.	Obana T Fujita N Noda Y Kobayashi G Ito K Sugawara T Horaguchi J Takasawa O Endo T Nakahara K	病理学講座 先進機能病理学分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Sawai T Uzuki M Watanabe M	
Mol Endocrinol 22(12):2609-23(2008)	Tissue -and context-dependent modulation of hormonal sensitivity of glucocorticoid-responsive genes by hexamethylene bisasetamide-inducible protein 1.	Shimizu N Yoshikawa N Wada T Handa H Sano M Fukuda K Suematsu M Sawai T Morimoto C Tanaka H	病理学講座 先進機能病理学分野
J Iwate Med Assoc 60(5):383-4(2008)	A case of eyelid tumor of 79-year-old woman.	Miura Y Shibata Y Koizumi T Cummings TJ Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
岩手医誌 59(6):451-452(2008)	未踏光学(テラヘルツ光学)による病理組織イメージング(第二報)	三浦 康宏 柴田 祐二 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
胆と膵 29(8):689-95(2008)	胆汁の効果的採取法と保存法	野田 裕 藤田 直孝 小林 剛 伊藤 啓 洞口 淳 高澤 磨 尾花 貴志 越田 真介 菅野 良秀 鈴木 敬 平澤 大 菅原 俊樹 大平 哲也 原田 喜博 佐藤 千晃 小川 貴央 小池 良樹 鈴木 憲次郎 山形 拓 澤井 高志 宇月 美和 黒瀬 顕	病理学講座 先進機能病理学分野
日本レーザー医学会誌 28(4):395-403(2008)	テラヘルツ分光およびイメージングの生命医科学への応用	谷 正彦 山口 真理子 山本 晃司 江夏 徳次郎 北原 英明 萩行 正憲 三浦 康宏 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
岩手医誌 59(6):451(2008)	ATMとヒストンH2AXのリン酸化を指標としたDNA損傷と修復機構の基礎的解析と病理標本への応用	黒瀬 頤 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
Medical Technology 36(8):792-5(2008)	バーチャルスライド特集にあたって	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
Medical Technology 36(8):804-7(2008)	病理診断の均てん化を目指したバーチャルスライドの活用—observer variation の解消のために	黒瀬 頤	病理学講座 先進機能病理学分野
Medical Technology 36(8):835-8(2008)	現状におけるバーチャルスライドの問題点と今後の開発	宇月 美和 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
病理と臨床 26(7):754-5(2008)	中国の病理診断科—中国延辺大学病院における病理医と患者とのコミュニケーション—	金 仁順 朴 東明 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology 2(3):168-73(2008)	学会発表講座 リウマチ性疾患における病理組織画像のプレゼンテーション	澤井 高志 三浦 康宏 宇月 美和	病理学講座 先進機能病理学分野
Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology 2(3):124-7(2008)	RAの関節破壊における病理学的特徴	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
Rheumatology Clinical Update 15:7-10(2008)	RAにおける骨・軟骨破壊の病理学的特徴	宇月 美和 佐々木 喜子 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
道東リウマチ・膠原病談話会 2(1):1-6(2008)	関節リウマチにおける関節破壊の病理学的特徴	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
診断病理 25(3):226-228(2008)	卵巣子宮内膜症を発生母地とした境界悪性病変を伴う卵巣明細胞腺癌	金 仁順 黒瀬 頤 高取 恵里子 池田 真妃 杉山 徹 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
アレルギー 57(7):872-877(2008)	人工流産および薬疹後に全身性エリテマトーデスが発症した1例	佐々木 信人 馬場 俊右 高橋 進 伊藤 晴方 古和田 浩子 鹿内 俊樹 中村 豊 山内 広平 井上 洋西 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
運動器の診断学(越智隆弘; 中山書店 282-90(2008)	8章 感染症検査、病理組織診断;生検による病理組織診断 最新整形外科学大系2	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
エラスチン構造・機能・病理 伊藤浩行編 日本エラスチン研究会 7-8(2008)	第1章エラスチン研究法の進歩	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
エラスチン構造・機能・病理 伊藤浩行編 日本エラスチン研究会 9-22(2008)	免疫染色・in situ hybridization.	宇月 美和 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
エラスチン構造・機能・病理 伊藤浩行編 日本エラスチン研究会 214-24(2008)	架橋アミノ酸定量からみた動脈硬化	渡辺 みか 梅田 英幸 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
エラスチン構造・機能・病理 伊藤浩行編 日本エラスチン研究会 264-75(2008)	加齢および肺高血圧症に伴う肺動脈幹の変化—組織計測を用いた解析—	鎌滝 章央 宇月 美和 佐々木 信人	病理学講座 先進機能病理学分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		澤井 高志	
最新医学別冊 新しい診断と治療のABC8 関節リウマチ(宮坂信之編) 最新医学社 26-41(2008)	第2章 病理・病態生理 病理-滑膜の炎症から骨破壊まで-	澤井 高志 宇月 美和 佐々木 喜子 金 仁順	病理学講座 先進機能病理学分野
Arth Rheum 8(2):21(2008)	Protection ageinst autoimmune nephritis in MyD88-Deficient MRL/lpr mice.(My D88 欠損MRL/lpr マウスにみられる自己免疫性腎炎の保護効果)	Sadanaga A Nakashima H Akahoshi M Masutani K Miyake K Igawa T Sugiyama N Niuro H Harada M	病理学講座 先進機能病理学分野
Osteoarthritis and Cartilage 16(Supple 4):S100(2008)	The effect of cytokine on hyaluronan metabolism of chondrocyte.	Kamataki A Oikawa S Mimata Y Uzuki M Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Int J Rheumatic Diseases A505(2008)	Rapid destruction of the hip joint in mixed connective disease.	Toshida W Numata N Kikuchi T Shimamura T Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Int J Rheumatic Diseases A505(2008)	Identification of autoantigen targetd by anti-endothelial cell antibody from patients with MCTD.	Kamataki A Sasaki N Hatakeyama A Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
厚生労働省研究費補助金- 厚生労働省免疫アレルギー疾患 予防・治療研究事業-関節リウ マチ・骨粗鬆症の重症化防止 治療開発研究班平成19年度 総括・分担研究報告書 13-14(2008)	関節リウマチにおける線維芽細胞様細胞の由来、特徴に関する研究	宇月 美和	病理学講座 先進機能病理学分野
厚生労働省研究費補助金- 厚生労働省免疫アレルギー疾患 予防・治療研究事業-関節リウ マチ・骨粗鬆症の重症化防止 治療開発研究班平成17~19 年度総合研究報告書 1/2:23-25(2008)	関節リウマチにおける線維芽細胞様細胞の由来、特徴に関する研究	宇月 美和	病理学講座 先進機能病理学分野
テラヘルツ光学フォーラム抄録集 10-11(2008)	生体材料のテラヘルツ分光と画像の解析	渡邊 民朗 倉林 徹 平塚 明 菊地 紀江 澤井 高志 土岐 規仁	病理学講座 先進機能病理学分野
テラヘルツ光学フォーラム抄録集 12-13(2008)	テラヘルツ波の臨床医学への応用	三浦 康宏 金 仁順 澤井 高志 西澤 潤一 佐々木 哲朗 吉田 孝 須藤 建	病理学講座 先進機能病理学分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「混 合性結合組織病の病態解明 と治療法の確立に関する研 究」班平成19年度総括・分担 研究報告書 18-21(2008)	混合性結合組織病(MCTD)にともなう肺高血圧(PH)に関連する 抗内皮細胞抗体(AECA)に関する研究	澤井 高志 鎌滝 章央 佐々木 信人 畠山 明	病理学講座 先進機能病理学分野
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「混 合性結合組織病の病態解明 と治療法の確立に関する研 究」班平成17~19年度 総合 研究報告書 27-32(2008)	混合性結合組織病(MCTD)にともなう肺高血圧(PH)に関連する 抗内皮細胞抗体(AECA)に関する研究	澤井 高志 鎌滝 章央 佐々木 信人 畠山 明	病理学講座 先進機能病理学分野
第23回日本臨床リウマチ学 プログラム抄録集:S116(2008)	軟骨細胞によるヒアルロン酸合成および分解にサイトカインが およぼす影響	鎌滝 章央 三又 義訓 及川 伸也 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
第23回日本臨床リウマチ学 プログラム抄録集:S131(2008)	アレルギー性肉芽腫性肺血管炎モデルに対するモンテルカスト による抑制効果について	佐々木 信人 山内 広平 井上 洋西 鎌滝 章央 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
第18回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会 抄録集:S38(2008)	ヒト血清中のヒアルロン酸分子量測定法に関する検討	佐々木 喜子 宇月 美和 北川 広進 能見 健司 駒ヶ嶺 正隆 嶋村 正 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
第18回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会 抄録集:S39(2008)	器官培養滑膜組織に添加したヒアルロン酸の影響	宇月 美和 佐々木 喜子 嶋村 正 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
第18回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会 抄録集:S39(2008)	Green fluorescent protein(GFP)マウス由来骨髓細胞を移植した マウスに関節炎を誘導した際の骨髓細胞の動態	宇月 美和 村井 一範 石田 陽治 佐々木 喜子 越智 隆弘 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
Hepatology Res. 38:601-613,2008	Angiotensin II and epidermal growth factor receptor cross-talk mediated by a disintegrin and metalloprotease accelerates tumor cell proliferation of hepatocellular carcinoma cell lines.	Itabashi H	病理学講座 病理病態学分野
Eur. J. of Clin. Inv. 39:359-367,2009	Effect of atorvastatin on microRNA221/222 expression in endothelial progenitor cells obtained from patients with coronary artery disease.	Minami Y	病理学講座 病理病態学分野
J. Inv. Dermatol. 129:1516-1526,2009	Loss of class III $\beta$ -tubulin induced by histone deacetylation is associated with chemosensitivity to paclitaxel in malignant melanoma cells.	Akasaka K	病理学講座 病理病態学分野
Int. J. Mol. Med. 24:35-43,2009	Differential microRNA expression between bone marrow side population cells and hepatocytes in adult mice	Nagata Y	病理学講座 病理病態学分野
Cell Tissue Res. 336: 287-297,2009	Ontogeny of reticular framework of white pulp and marginal zone in human spleen: immunohistochemical studies of fetal spleens from the 17th to 40th week of gestation.	Satoh T	病理学講座 病理病態学分野
Int. J. Oncol. 35: 467-476,2009	DNA hypomethylation at the CpG island is involved in aberrant expression of the L1 cell adhesion molecule gene in colorectal cancer.	Kato K	病理学講座 病理病態学分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日臨外誌 69: 1019-1023,2008	頭蓋骨転移を契機に発見された甲状腺低分化癌の1例	御供 真吾	病理学講座 病理病態学分野
日消外誌 41: 499-504,2008	著明なリンパ球浸潤を伴い HLA-DA 抗原の発現がみられた食道低分化型腺癌の1例	御供 真吾	病理学講座 病理病態学分野
岩手医誌 60: 175-186,2008	乳癌における $\beta$ III-tubulin の発現とその制御機構の解析	小松 英明	病理学講座 病理病態学分野
日皮会誌 118: 1233-1239,2008	皮膚特異疹を呈した急性骨髄性白血病の3例	菅 慶子	病理学講座 病理病態学分野
岩手医誌 61: 139-149,2009	骨肉腫細胞株におけるヒストン脱アセチル化阻害剤と微小管阻害薬の殺細胞相乗効果に関する分子機構	多田 広志	病理学講座 病理病態学分野
Inflammopharmacology 16:16-20 2008	Upper gastrointestinal disorders induced by non-steroidal anti-inflammatory drugs.	Chiba T Kudara N Shinozaki H Ikeda K Sato K Endo M Orii S Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Metab Brain Dis 23:265-274 2008	Selective alterations of brain dopamine D2 receptor binding in cirrhotic patients:results of a 11C-N-methylspiperone PET study.	Watanabe Y Kato A Sawara K Roger F Butterworth Sasaki T Terasaki K Sera K Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Hepatology Reseach 39(2)117-125 2009	Evaluation of newly developed combination therapy of intra-arterial5-fluorouracil and systemic pegylated interferon $\alpha$ -2b for advanced hepatocellular carcinoma with portal.	Kasai K Kuroda H Ushio A Sawara K Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
癌と化学療法 36(3)479-483 2009	Three(3)Cases of Advanced Hepatocellular Carcinoma(HCC)Treated Successfully by Transcatheter Arterial Chemoembolization (TACE)Using Lipidol and a Fine-Powder.	Kasai K Kuroda H Ushio A Miyamoto Y Sawara K Miyasaka A Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Hepato Res 38(Suppl. 1):S14-S-18;2008	Clinical epidemiology of fulminant hepatitis in Japan.	Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Hepato Res 39:648-656;2009	Case-control study for the identification of virological factors associated with fulminant hepatitis B.	Kusakabe A Tanaka Y Mochida S Nakayama N Inoue K Sata M Isada N Kang JH Sumino Y	内科学講座 消化器・肝臓内科分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Yatsuhashi H Takikawa Y Kaneko S Yamada G Karino Y Tanaka E Kato J Sakaida I Izumi N Sugauchi F Nojiri S Joh T Miyakawa Y Mizukami M	
Biochem Biophys Res Com 382:549-554;2009	Carnosic Acid and Carnosol Inhibit Adipocyte Differentiation in Mouse 3T3-L1 Cells through Induction of Phase 2 Enzymes and Activation of Glutathione.	Takahashi T Sato T Tabuchi T Tamaki Y Kosaka K Takikawa Y	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Case Rep Gastroenterol 3:193-197;2009	Evaluation of infliximab effects on gastrointestinal bleeding in Crohn's disease using double-balloon endoscopy.	Chaudhury M Kudara N Chiba T Endo M Akasaka R Tomia K Fujiwara S Mizutani T Sugai T Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Hepatol Int 3:269-282;2008	Acute on chronic liver failure(ACLF):Consensus recommendations of the asian pacific association for the study of the liver(APASL).	Shiv Kumar Sarin Ashish Kumar John Almeida Yogesh Kumar Chawla Sheung Tat Fan Hitendra Garg H Janaka de Silva Saeed Hamid Rajiv Jalan Piyawat Komolmitr George K Lau Qing Liu Kaushal Madan Rosmawati Mohamed Qin Ning Salimur Rahman Archana Rastogi Stephen M Riordan Puja Sakhuja Dider Samuel Samir Shah	内科学講座 消化器・肝臓内科分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Barjesh Chander Sharma Praveen Sharma Yasuhiro Takikawa Babu Ram Thapa Chun Tao Wai Man-Fung Yuen	
Hepatol Int 2:213-221;2008	Clinical impact of serum transforming growth factor- $\alpha$ mRNA as a predictive biomarker for the prognosis of fulminant hepatitis.	Miura N Kabashima H Shimuzu M Sato R Tsukamoto T Harada T Takahashi S Endo R Nakayama N Takikawa Y Mochida S Suzuki K Hasegawa J Shiota G	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
J Faculty Nursing,Iwate Prefectural University 10:37-43;2008	Seroprevalence of anti-EBV and epidemiological features in hog raising area and non hog raising area.	Miura N Kabashima H Shimizu M Sato R Tsukamoto T Harada T Takahashi S Endo R Nakayama N Takikawa Y Mochida S Suzuki K Hasegawa J Shiota G	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Inflamm Bowel Dis 14(2):259-64;2008	Endoscopic and chromoendoscopic atlas featuring dysplastic lesions in surveillance colonoscopy for patients with long-standing ulcerative colitis.	Matsumoto T Iwao Y Igarashi M Watanabe K Otsuka K Watanabe T Iizuka B Hida N Sada M Chiba T Kudo SE Oshitani N Nagawa H Ajioka Y Hibi T	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Inflammopharmacology 16(1):16-20 2008	Upper gastrointestinal disorders induced by non-steroidal anti-inflammatory drugs.	Chiba T Sato K Kudara.N	内科学講座 消化器・肝臓内科分野



## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Shinozaki H Ikeda K Sato K Endo M Orii S Suzuki K	
日本血栓止血学会誌 19(2):226-234;2008	急性肝不全におけるDIC	滝川 康裕 小野寺 美緒 柿坂 啓介 宮本 康弘 稲葉 宏次 鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
日本消化器病学会雑誌 105(6):787-794;2008	肝細胞癌治療後の補助療法	葛西 和博 黒田 英克 鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
臨牀消化器内科 23(13):1781-1787,2008	劇症肝炎に対する血液浄化療法の有効性と今後の課題	遠藤 龍人 滝川 康裕 鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
	潰瘍性大腸炎患者の精神的ストレスの唾液中クロモグラニンAの検討	齋藤 小豊 星野 健 鈴木 順 山内 広平 井上 洋西 千葉 俊美 折居 正之 鈴木 一幸	
日本高齢消化器医学会誌 10(2):57-64;2008	高齢者におけるFunctional Dyspepsiaの病態	千葉 俊美 池田 圭政 斎藤 慎二 多良 徳彦 小穴 修平 金沢 康之 赤坂 理三郎 佐藤 邦彦 瀬川 文香 富田 一光 遠藤 昌樹 折居 正之 鈴木 一幸 上杉 憲幸 菅井 有	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Diabetic Medicine 25: 1211-1217,2008	Psychosocial factors are independent risk factors for the development of type 2 diabetes in Japanese workers with impaired fasting glucose and/or impaired glucose tolerance.	Toshihiro M Saito K Takikawa S Takebe N Onoda T Satoh J	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野
Annal NY Acad Sci 1150:59-60,2008	Lowered expression of the NF- $\kappa$ B family member in dendritic cells from NOD mice are associated with a reduced expression of GATA-2.	Takahashi K Oka Y Satoh J	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis 198(2): 347-353,2008	Association between oxidative DNA damage and telomere shortening in circulating endothelial progenitor cells obtained from metabolic syndrome patients with coronary artery disease.	Satoh M Ishikawa Y Takahashi Y Itoh T Minami Y Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Clinical Science 115: 133-140,2008	Local expression of Toll-like receptor 4 at the site of ruptured plaques in patients with acute myocardial infarction.	Ishikawa Y Satoh M Itoh T Minami Y Takahashi Y Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Frontiers in Bioscience 13:6708-6715,2008	Role of toll like receptor signaling pathway in ischemic coronary artery disease.	Satoh M Ishikawa Y Minami Y Takahashi M Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Int Heart J 49(4): 435-447,2008	Combination therapy with amiodarone and enalapril in patients with paroxysmal atrial fibrillation prevents the development of structural atrial remodeling.	Komatsu T Ozawa M Tachibana H Sato Y Orii M Kunugida F Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Metabolism: clinical and experimental 57(10):1473-1478,2008	Effects of telmisartan on adiponectin levels and body weight in hypertensive patients with glucose intolerance.	Makita S Abiko A Naganuma Y Moriai Y Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Europace 10(supple3): 14-21,2008	Imaging of pulmonary veins during catheter ablation for atrial fibrillation: the role of multi-slice computed tomography.	Niinuma H Richard T George Armin Arbab-Zadeh Joao A.C. Lima Charles A. Henrikson	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
European Radiology Nov 8:2008	Coronary CT angiography using 64 detector rows: methods and design of the multi-centre trial CORE-64.	Miller JM Dewey M Vavere AL Rochitte CE Niinuma H Arbab-Zadeh A Paul N Hoe J de Roos A Yoshioka K Lemos PA Bush DE Lardo AC Texter J Brinker J Cox C Clouse ME Lima JA	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Current Heart Failure Repor 5(2):69-74,2008	Immune modulation: role of the inflammatory cytokine cascade in the failing human heart.	Satoh M Minami Y Takahashi Y Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Atherosclerosis Aug 12:2008	Serum C-reactive protein levels can be used to predict future ischemic stroke and mortality in Japanese men from the general population.	Makita S Nakamura M Satoh K Tanaka F Onoda T Kawamura K Ohsawa M Tanno K Itai K Sakata K Okayama A Terayama Y Yoshida Y Ogawa A	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
J Caridology 53:35-42,2009	A rndomized study on the efficacy of intravenous cibenzoline and pilsicainide administered prior to electrical cardioversion in patients with lone paroxysmal and persistent atrial fibrillation.	Komatsu K Tachibana H Sato Y Ozawa M Ohshima K Orii M Kunugida F Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
European Journal of Clinical Investigation 39:359-367,2009	Ehfect of atorvastatin on microRNA221/222 expression in endothelial rogenitor cells obtained from patients with coronary artery disease.	Minami Y Satoh M Maesawa C Takahashi Y Tabuchi T Itoh T Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Clinical science 116:827-835,2009	Effect of intensive lipid-lowering theyapy on telomere erosion in endothelial progenitor cells obtained from patients with coronary artery disease.	Satoh M Minami Y Takahashi Y Tabuchi T Itoh T Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Clinical and experimental hypertension 31:105-115,2009	Efficacy of low-dose hydrochlorothiazide in combination with telmisartan on early morning blood pressure in uncontrolled hypertensive patients.	Makita S Abiko A Naganuma Y Tamada M Nakamura M	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
ACP Journal Club 150(5):12,2009	Computed tomography angiography is highly accurate for diagnosing significant stenosis in peripheral arterial disease.	Niinuma H	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Medical Practice 25(6):938-955,2008	不整脈へのアプローチその2抗不整脈薬の安全な使い方 どの薬をどのように使うか	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
循環器 63(5):483-490,2008	解説:発作性心房細動に対して薬物療法をどこまで行うか	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Cardiac Practice 19(2):209-221,2008	特集:不整脈のアブレーション治療座談会 カテーテルアブレーションの適応・課題・展望	小松 隆 奥村 謙	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		熊谷 浩一郎 櫻田 春水	
Therapeutic Research 29(2):123-129,2008	マルチチャンネル部ロッカーの心房細動に対する臨床的意義発作性心房細動に対するシベンゾリンの停止および予防効果	小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
Medical Practice 25(3):494-498,2008	不整脈治療薬のつかいかた心房細動における抗凝固療法最近の考え方	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
脈管学 48(1):55-60,2008	特集:大動脈解離の論点-大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(2006年)を踏まえて大動脈瘤・大動脈解離のガイドラインを踏まえての診断、治療面における血液凝固系異常	新沼 廣幸	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
Vascular lab 5:75-80,2008	第3章冠動脈MR	新沼 廣幸	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
新医療 8月号:154-155,2008	可能性を広げる循環器領域でのモダリティ利用循環器分野での画像診断の現状と今後 必要となる鑑別診断を踏まえた検査法の選定	新沼 廣幸	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
心エコー 9(11):1066-1076,2008	大きな心臓-心肥大と心拡大【読み方】知っておきたい心拡大がみられる心筋疾患	田代 敦 小山 耕太郎	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
心臓 40(4):20-27,2008	正常型、右脚ブロック型ならびに左脚ブロック型QRS波形を呈した房室結節エントリー性頻拍の1例	折居 誠 小松 隆 橋 英明 佐藤 嘉洋 小澤 真人 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
Progress in Medicine 28(12):3053-3055,2008	塩酸ソタロールと塩酸ベプリジルの併用により心室頻拍を予防した肥大型心筋症の1例	佐藤 嘉洋 小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
分子心血管病 9(5):462-469,2008	特集:心房細動のダウンストリーム・アップストリーム治療心房細動のダウンストリーム治療:抗不整脈薬の選択と使用の実際	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
CLINICIAN 573:44-51,2008	心房細動~不整脈治療最前線心原性脳塞栓症の疫学と心原性脳塞栓症予防におけるワーファリンの位置づけ	小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
ペースメーカー・ICD・CRT 159-169,2008	大規模臨床試験の解説植込み型除細動器(ICD)に関する臨床試験	中村 元行 小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
Medical Practice 25(8):1442,2008	ワーファリンの投与方法について	小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
Progress in Medicine 28(12):3053-3055,2008	I.心室頻拍・心室細動症例塩酸ソタロールと塩酸ベプリジルの併用により心室頻拍を予防し得た肥大型心筋症の1例	佐藤 嘉洋 小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
脈管学 48(4):363-365,2008	Loeys-Dietz syndrome の1例	長沼 雄二郎 蒔田 真司 安孫子 明彦 肥田 龍彦 盛合 美光 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
心臓 141(2):140-145,2009	進行性の左室収縮機能障害と僧帽弁閉鎖不全症および換気不全を呈した全身強皮症の1例	瀬川 利恵 佐久間 雅文 中村 元行 菅野 裕幸 澤井 高志	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
Progress in Medicine 29(suppl1):698-702,2009	第13回アミオダロン研究会講演集発作性/持続性心房細動におけるアミオダロンとアンジオテンシン変換酵素阻害薬併用療法の長期予防効果と構造的リモデリングとの関連	橋 英明 小松 隆 佐藤 嘉洋 小澤 真人 折居 誠 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野
心電図 29(2):117-125,2009	心房細動の病態と治療の進歩発作性心房細動に対する抗不整脈薬とエナラプリル/プラバスタチン併用療法の長期予防効果	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科学分野

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
	—Upstream治療の有効性と限界	奥村 謙	
治療学 43(1):64-38,2009	特集:心房細動トータルマネジメントの実践:診断から治療戦略まで 心不全合併例の治療戦略	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
いきなり名医 あなたが診る心房細動 101-104,2009	Q.25 いつから始まったのかわからないときはどうするのか?	小松 隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
心臓リズムマネジメントと究める 225-230,2009	完全および高度房室ブロックに対するペースメーカー治療	佐藤 嘉洋 小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
日本心臓学会誌 4(1):78-82,2009	症例報告左室流出路狭窄を伴うたこつぼ型心筋障害に心破裂を 合併した1例	小室 聖太郎 伊藤 智範 房崎 哲也 小林 健 遠藤 浩司 三船 俊英 高橋 祐司 菅原 正磨 赤津 智也 田代 敦 新沼 廣幸 熊谷 和也 数井 利信 上部 一彦 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
心臓 41(Suppl3):95-100,2009	QT延長を呈した不整脈原発性右心筋症の1例	榎田 房紀 小松 隆 小澤 真人 佐藤 嘉洋 橋 英明 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
岩手県立病院医学会雑誌 49(1):41-43,2009	入院経過中の発熱から発見された炎症性腹部大動脈瘤の1例	肥田 親彦 金矢 宣紀 石川 有 松本 立也 吉田 匠 柴田 俊秀 皆川 幸洋 下沖 収	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Heart View 13(1):20-24,2009	特集:心房細動をどうマネジメントするか無症候性心房細動 —診断と意義—	小松 隆 中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野
Nihon Gekakei Rengo Gakkaishi (Journal of Japanese College of Surgeons) 33(2) 155-159,2008	Laparoscopy-Assisted Jejunal Resection for Leiomyoma Preoperatively Diagnosed as Jejunal Gastrointestinal Mesenchymal Tumor by Double-Ballon Endoscopy:Report of a Case	Shioi Y Sasaki A Otsuka K Koeda K Ikeda K Wakabayashi G	外科学講座
Int J PIXE 18(1) 61-67,2008	Serum trace elements as nutritional markere in a case with acute aortic dissection	Mimura Y Suwabe A Tawara M Endo R Ikeda K Sera K	外科学講座

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dig Dis Sci 53(11) 2878-85,2008	Candida albicans infection delays duodenal ulcer healing in cysteamine-induced duodenal ulcers in rats.	Jin L Yoshida M Nakamura T Ishikawa H Wakabayashi G Tanabe M Kawachi S Shinoda M Saikawa Y Wada N Kameyama K Kumai K Kubota T Sano K Nagao K Amagai M. Kitagawa Y Kitajima M	外科学講座
Nihon Gekakei Rengo Gakkaishi(Journal of Japanese College of Surgeons) 33(4) 629-633,2008	Obstructive Colitis Related to Perforation by Descending Colon Cancer:Report of a case	Obuchi T Sasaki A Nakajima J Baba S Wakabayashi G	外科学講座
Surg Today 38(9) 790-794,2008	Laparoscopic cholecystectomy in patients with a history of gastrectomy.	Sasaki A Nakajima J Nitta H Obuchi T Baba S Wakabayashi G	外科学講座
Dig Dis Sci 53(9) 2422-2428,2008	Intravenous injection of micafungin counteracts Candida albicans- Induced aggravation of duodenal ulcers caused by cysteamine in rats.	Nakamura T Yoshida M Kitagawa Y Jin L Ishikawa H Kameyama K Wakabayashi G Tanabe M Kawachi S Shinoda M Saikawa Y Wada N Kubota T Kumai K Sano K Kitajima M	外科学講座
Surg Today 38(10) 955-958,2008	Laparoscopic spleen-preserving distal pancreatectomy with conservation of the splenic artery and vein: Report of three cases.	Sasaki A Nitta H Nakajima J Obuchi T Baba S Wakabayashi G	外科学講座
Nature Protoc	Reverse-phase protein lysate microarrays for cell signaling analysis.	Spurrier B	外科学講座

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
3(11) 1-13,2008		Ramalinagam S Nishizuka S	
Liver transpl 14(12) 1718-1724,2008	Liver regeneration in donors and adult recipients after living donor liver transplantation.	Haga J Shimazu M Wakabayashi G Tanabe M Kawachi S Fuchimoto Y Hoshino K Morikawa Y Kitajima M Kitagawa Y	外科学講座
World J Surg 32(3) 381-5,2008	Endoscopic thyroidectomy by the breast approach: a single institution's 9-year experience.	Sasaki A Nakajima J Ikeda K Otsuka K Koeda K Wakabayashi G	外科学講座
World J Surg 33(1) 67-71,2009	Endoscopic Subtotal Thyroidectomy: The Procedure of Choice for Graves' disease?	Sasaki A Nitta H Otsuka K Obuchi T Kurihara H Wakabayashi G	外科学講座
Biotechnol Adv 26(4) 361-9,2008	Protein and lysate array technologies in cancer research.	Spurrier B Honkanen P Holway A Kumamoto K Terashima M Takenoshita S Wakabayashi G Austin J Nishizuka S	外科学講座
Cancer Sci 99(2) 280-6,2008	Downregulation of miR-138 is associated with overexpression of human telomerase reverse transcriptase protein in human anaplastic thyroid carcinoma cell lines.	Mitomo S Maesawa C Ogasawara S Iwaya T Shibazaki M Yeshima-Abo A Kotani K Oikawa H Sakurai E Izutsu N Kato K Komatsu H Ikeda K Wakabayashi G Masuda T	外科学講座
Int J Oncol 35(3) 467-476,2009	DNA hypomethylation at the CpG island is involved in aberrant expression of the L1 cell adhesion molecule gene in colorectal cancer.	Kato K Maesawa C Itabashi T Fujisawa K	外科学講座

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Otsuka K Kanno S Toda H Tatemichi Y Kotani K Oikawa H Sugai T Wakabayashi G Masuda T	
Br J Surg 96(3) 274-9,2009	Ten-year experience of totally laparoscopic liver resection in a single institution.	Sasaki A Nitta H Otsuka K Takahara T Nishizuka S Wakabayashi G	外科学講座
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 19(4) 338-340,2009	Laparoscopic surgery for splenic artery aneurysm	Obuchi T Sasaki A Nakajima J Nitta H Otsuka K Wakabayashi G	外科学講座
腸切開・縫合術・吻合 Digestive Surgery DSNOW 小腸・結腸外科 標準手術 1 操作のコツとトラブルシューティング	腸切開・縫合術・吻合	大塚 幸喜 板橋 哲也 若林 剛	外科学講座
癌と化学療法 35(4) 669-672,2008	左鎖骨上窩リンパ節転移にて発見され腹腔鏡補助下大腸切除術後にFOLFOX4療法が著効したS状結腸癌の1例	須藤 隆之 伊藤 直子 大淵 徹 上杉 憲幸 菅井 有 中村 眞一 若林 剛	外科学講座
函館五稜郭病院誌 16,27-30,2008	大腸印環細胞癌の2例	御供 真吾 小林 慎 秋山 有史 入野田 崇 早川 善郎 目黒 英二 高金 昭典 池田 健	外科学講座
日本消化器外科学会誌 41(5) 564-569,2008	アスピリン腸溶剤内服によるものと思われた多発大腸潰瘍穿孔の1例	星川 浩一 吉田 徹 佐藤 耕一郎 加藤 丈人 小原 眞 八島 良幸 佐藤 孝 若林 剛	外科学講座
臨床外科 63(5) 711-716,2008	術前診断において悪性を否定できなかった巨大肝嚢胞内出血の1例	御供 真吾 肥田 圭介 細井 義行 島山 元	外科学講座